

川上村新事業がスタート 「かわかみ源流ツーリズム」

今月23日の「親子釣り教室」は満員に

吉野川の水源地、川上村は4月から、新事業「かわかみ源流ツーリズム」をスタートさせた。エコツーリズム推進法の理念に基づき、同村に行く「きっかけ」を体験プログラムとして用意することが事業のスタートライン。その上に立って、レジャー客に向けて水を汚さないなど自然資源保全のメッセージ「しないでください」を発信する。

〔写真は川上村提供〕

体験プログラムを提供するには▼地域資源を素材としたプログラムの企画▼自然環境に負荷のかからないプログラムとなるよう配慮▼都市や流域、次世代の人々との交流活性化▼村内での宿泊・飲食や地元産の利活用など、地域経済に貢献▼地域住民の生活に迷惑、負担がかからない取り組みの5つをポイントにしている。

村民や村内外のアウトドア事業者らと共にプログラ

ムを企画する。パターンとして▼村民主役型(餅つき、さんぽ会など)▼地域主役型(地域の祭、バザーなど)▼課題解決型(川を汚さないキャンプなど)▼研修教育型(環境学習、大学受け入れなど)▼企業参加型(SDGs、環境活動など)がある。季刊誌(年4回)やインターネットなどで随時参加者を募集する。

自然資源保全のメッセージも発信

集を終了。このほか▼はじめてのバードウォッチング(5月21日)▼丹生川上神社上社の夜間特別参拝と境内からの星空観察(6月4日)▼子どもの成長を願う日本遺産「でんがら」を作ろう(同5日)▼川開きのごちそう「柿の葉ずし」を作ろう(同10日)▼昔ながらのこんにゃくづくり体験(同25日)などを計画している。

ホテル杉の湯や「匠の聚(たぐみのむら)」を運営する一般社団法人「グリーンパークかわかみ」(理事長・栗山忠昭村長)から「かわかみ源流ツーリズム」に名称を変更。7月18日(奈良県山の日・川の日)には同村迫の村商工会館1階に事務所を開設する。

それに、村の環境保全の取り組みをけん引してきた

公益財団法人・吉野川紀の川源流物語がスクラムを組み、科学や教育面のボトムアップも図る。また、罰則を伴う条例などは制定していないが、村内の山や川で遊ぶ人たちに向けて▼火気の使用▼ごみの放置▼水を汚す行為の3点を「しないでください」というメッセージを強く呼びかけていく。

認定プログラムや募集の詳細い問い合わせは、かわかみ源流ツーリズム☎0746(52)0111(代表)へ。

栗山村長メッセージ



栗山忠昭・川上村長

川上村は、何十年も水源地の村として森と川を守ってきた村です。村に来ていただく人に、村の自然環境の素晴らしさを伝えたい、将来の世代にも継承したいという願いを持っています。

最近、川の使い方が目に余るようになってきました。村が保全している「水源地の森」付近でも、ごみの放置や川を汚す行為が目立っています。ルールを守ってもらいながら、楽しい遊びをしっかりと考えていきたいという「しないでください」というメッセージです。

豊かな自然が残る源流を保全しながら利活用し、村民と一緒に心新たにしながら取り組み、持続可能な地域づくり、経済活性化に結び付けたいと思います。



「親子釣り教室」のアマゴ釣り



星空観察



「でんがら」づくり



丹生川上神社上社を参拝



初心者のためのバードウォッチング



苔観察ツアー



バックラフト(小型ゴムボート)での川巡り

星空観察、「でんがら」づくりなど数々の体験プログラム用意